

令和4年度公益財団法人しまね国際センター事業報告

○公益目的事業

I. 多文化共生地域づくり事業（公益1）

1. 外国人・地域住民インフォメーション事業

来日して間もない外国人住民は、風土や文化の違い、日本語でのコミュニケーションの問題など多くの困難や精神的不安を抱えている。そのため、外国人住民が地域で円滑に生活していくための様々な情報を提供した。

また、地域住民に対しては、外国人住民に対する理解と国籍や民族の違いを超えて外国人住民と共生する地域づくりの意義や大切さについて機関誌やイベントを通じて広報した。

(1) 外国人住民に対する生活ガイドの情報発信

「ホームページ」や「SNS」により、生活に深く関係する情報を母国語で得られるよう多言語で提供した。

ア ホームページ 外国人住民のための生活情報

多言語：ふりがな機能付き日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語

イ SNS

Facebook、Instagram、YouTube を活用し、情報をより広く、効果的に提供した。

(2) 多言語・多文化リソースの提供

多言語・多文化に関する各種の図書や冊子等の閲覧・貸出を行った。

(3) 機関誌等の発行

ア 「まいるすとんず」（2,000部）年1回 令和5年3月発行

多文化共生や国際理解の意義や大切さについて広報した。

配布先 県、市町村、県内公共施設、大学、賛助会員、ボランティア登録者、県内国際交流団体、県外地域国際化協会等

イ 「SIC 応援団ニュース」（250部）隔月発行

センターの取り組みや事業の成果を報告した。

配布先 賛助会員、県、市町村等

(4) 国旗、民族衣装、地図等の貸出

外国国旗等の保有状況（国連旗等含む。）

国 旗 94 か国 233 枚
卓 上 旗 88 か国 196 枚
民族衣装 9 か国 23 着

貸出実績

図書	国旗	卓上旗	民族衣装	地図
80	25	2	0	0

2. コミュニティ通訳ボランティア派遣事業

外国人住民が、行政機関や学校・病院等の公共機関を利用する場合、日本語の能力の問題から意思疎通が十分できず困難な状況が生じることがある。そのため、コミュニケーションが円滑に図られるよう、外国人住民・関係機関からの依頼に基づきコミュニティ通訳ボランティアを派遣した。

派遣件数 85 件（令和3年度29件）

言語内訳 英語61件 中国語10件 タガログ語0件 韓国語0件、
ポルトガル語14件、スペイン語0件

派遣先 病院、学校、各種相談窓口等

コミュニティ通訳ボランティア登録者数 63 人（後掲）

3. 留学生支援事業

県内の高等教育機関等に在籍する私費留学生に対して、県民から寄せられた寄付金に当財団の財源を加えて奨学金を支給し、学生生活を支援した。

また、来日直後や帰国前にアパート等宿舎が確保されていない留学生等のために、短期間の宿舎として本所の研修棟を提供している。

(1) しまね国際センター外国人留学生奨学金交付事業

対象者 県内の大学（大学院）、短大、高専4年次以上（専攻科含む）、
専修学校の専門課程等に在籍する私費留学生
（他の奨学金を受けていないこと）

奨学金 月額2万円（1年間交付）、年額24万円/人

交付者 12 人（島根大学8人、坪内総合ビジネスカレッジ2人、トリニティ
カレッジ出雲医療福祉専門学校1人、リハビリテーション
カレッジ島根1人）

(2) 外国人留学生短期宿舎提供事業

来県直後にアパート等宿舎が確保されていない留学生等に、短期間宿舎として提供した。

人数等 1人（韓国）

泊数 3泊

4. 多文化共生啓発事業

多文化共生の意義や必要性について出前研修を行ったほか、外国人住民の母国の文化の紹介などを通じて、外国人住民の積極的な社会参加を促すとともに、地域住民との交流や情報交換ができるアンテナサロンを実施した。

(1) 多文化共生出前研修

講師派遣件数 23件（令和3年度26件）

派遣先 行政機関、大学、高校、外国人材受入団体等

研修テーマ 多文化共生、「やさしい日本語」について、外国人の人権等

(2) アンテナサロンの開催

外国人住民と地域住民とが気軽に交流し異文化理解を深める機会を、開催地域の市町村や関係団体と協働し提供した。

ア 外国の絵本&ダンスであそぼう！

日時 令和4年6月19日（日）10:00-11:00

場所 悠邑ふるさと会館（川本町）

参加者 26人

内容 中国語・クメール語・日本語での絵本の読み聞かせ、カンボジアのダンス紹介、クイズ等

イ 世界の絵本でおはなし会（ロシア語&中国語）

日時 令和4年11月20日（日）10:00-10:35

場所 浜田市立中央図書館（浜田市）

参加者 13人

内容 ロシア語・中国語・日本語での絵本の読み聞かせ、ミニ文化紹介クイズ

ウ 世界の絵本でおはなし会（英語&フランス語&タイ語）

日時 令和5年2月5日（日）14:00-15:40（※2回実施）

場所 益田市立図書館（益田市）

参加者 26人
内 容 英語・フランス語・タイ語での絵本の読み聞かせ、
ミニ文化紹介クイズ

エ 世界の絵本でおはなし会（英語&インドネシア語）
日 時 令和5年3月4日（日）14:00-15:30（※2回実施）
場 所 浜田市立中央図書館（浜田市）
参加者 22人
内 容 英語・インドネシア語での絵本の読み聞かせ、
ミニ文化紹介クイズ

(3) 人権ユニバーサル事業（県受託事業）

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、県人権同
和对策課が国から受託した「人権ユニバーサル事業 外国人の人権を考える集い」
を当センターが再受託して開催した。（共催：島根県、島根県人権啓発活動ネット
ワーク協議会）

日 時 令和4年10月16日（日）15:35-16:25
場 所 雲南市加茂文化ホール ラメール（雲南市）
参加者 280人
内 容 多文化ステージ「ちがうって楽しい！よしとの紙芝居」
講師等 よしと（紙芝居作家）、雲南市外国人住民

5. 外国人住民日本語研修事業

(1) 技能実習生等日本語研修事業

技能実習生が、専門的技術を学びつつ地域住民と円滑に生活していくためには、
一定程度の日本語能力が必要である。このため、技能実習生監理団体である商工
会議所、商工会、組合等からの受託により「しまね国際研修館」で宿泊研修を実施
する予定だったが、受託はなかった。

(2) ALT 日本語研修事業

小中学校等で英語等を教える外国語指導助手（ALT）について、外国語教育の指
導効果の向上を図るため、日本語研修を実施する予定だったが、COVID-19 拡大の
ため ALT がまとまって入国できず、中止となった。

6. ボランティア登録・活用事業

外国人住民が、地域で円滑に生活していくためには、日本語を教える日本語ボランティア、行政機関等と外国人住民の橋渡しをするコミュニティ通訳ボランティアなど生活に密着したボランティアが不可欠である。そのため、これらのボランティアを登録するとともに、有益な活用が図られるようボランティア活動の活性化と定着を図った。

(1) ボランティア登録 (2) ボランティア活動の機会提供

登録区分 (単位)	登録者数	活動件数
語学ボランティア (人)	192	0
ホームステイホームビジット受入ボランティア (家庭)	125	0
日本語ボランティア (人)	90	0
日本語パートナー (人)	159	38
多文化紹介ボランティア (人)	25	0
子どもサポーター (人)	128	0
コミュニティ通訳ボランティア (人)	63	85
災害時外国人サポーター (人)	80	0
合 計	857	

(令和3年度登録者の合計 839)

(3) 外国にルーツをもつ子どもたちの学習支援

外国にルーツをもつ子どもの高校進学を確保するために、外国にルーツをもつ子どもの学習を支援した。

ア 検討会

第1回

日 時 令和4年5月16日 (月) 14:00-16:00

場 所 出雲市民会館 (オンライン併用) (出雲市)

内 容 自己紹介、情報共有、協議 (学習支援教室の開催、進路希望・学習支援ニーズに関するアンケート、子どもサポーター養成講座)

第2回

日 時 令和4年7月11日 (月) 14:00-16:00

場 所 出雲市民会館 (オンライン併用) (出雲市)

内 容 情報共有、報告 (学習支援教室の開催状況)、協議 (学習支援教室の開催、進路希望・学習支援ニーズに関するアンケート、子どもサポーター養成講座、進路ガイダンス)

第3回

日 時 令和4年12月22日 (木) 14:00-16:00

場 所 出雲市民会館 (オンライン併用) (出雲市)

内 容 情報共有、報告(学習支援教室の開催状況、子どもサポーター養成講座)、協議(学習支援教室の開催、進路希望・学習支援ニーズに関するアンケート、進路ガイダンス)

第4回

日 時 令和5年2月15日(水) 14:00-16:00

場 所 出雲市民会館(オンライン併用)(出雲市)

内 容 情報共有、報告(学習支援教室の開催状況、進路ガイダンス)、協議(事業のまとめ)

イ 学習支援教室

期 間 令和4年6月～令和5年2月

場 所 出雲市民会館、出雲市立ひかわ図書館(出雲市)

内 容 外国にルーツをもつ子どもの学習支援 32回

参加者 学習者：延べ114人(中国、ブラジル)

ボランティア：延べ139人

ウ 外国にルーツをもつ先輩との交流会

日 時 令和5年2月23日(木) 10:10-11:40

場 所 出雲市立ひかわ図書館(出雲市)

内 容 外国にルーツをもつ先輩の話聞く、先輩と話す

講 師 王 希璇、星玖 藤原 愛紗(多文化ユースプロジェクト)

参加者 外国にルーツをもつ子ども 3人

7. 多文化共生推進事業

多言語による情報発信の強化、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語を含む21言語で対応できる外国人住民向けの相談業務、県内日本語教室の開設状況等を多言語で表記した日本語教室マップの作成配布、訪問型日本語学習支援の実施、災害サポーターの養成研修などの事業を実施した。

(1) 外国人住民への相談業務（県受託事業等）【拡充】

多言語による各種の相談に対応し、必要に応じて三者通話システムも利用しながら専門機関の紹介等を行ったほか、困難事例についてはケースワークを行い、相談から解決まで継続かつ一貫して支援した。

ア 定期相談及びワンストップ型生活相談窓口体制の整備

従来の相談窓口を拡充し、外国人住民の生活に関する様々な情報提供と相談に応じるワンストップ型の相談窓口を開設した。

対応言語 センター相談員による対応（5言語）

（英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語）

多言語コールセンターによる対応（21言語）

（英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語、韓国語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、スペイン語、ミャンマー語、クメール語、フランス語、ロシア語、ドイツ語、イタリア語、マレー語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、ベンガル語）

方 法 電話（三者通話対応）・来所・メール等による

相談者数 1,520人（東部1,484人、西部36人）（令和3年度1,301人）

うちコールセンター利用者数 300人（令和3年度133人）

件 数 2,308件（東部2,264件、西部44件）※相談種別延べ件数
（令和3年度1,946件）

相談内容 ケースワーク例
DV、離婚等

イ 出前相談

距離的な理由等で定期相談を利用できない外国人住民等の相談に応じるため、依頼に基づき出前相談を実施した。

対応言語 ポルトガル語

場所及び回数 出雲市役所3回

相談件数 3件（令和3年度5件）

相談内容 離婚後の対応、医療、学校でのトラブル等

ウ 外国人住民からの相談対応にかかる関係機関情報交換会

国・県の各種相談窓口をもつ機関との情報交換を行うことにより、外国人住民の相談対応を円滑にすることを目的として、情報交換会を実施した。

日 時 令和5年3月16日(木) 13:30-15:00
場 所 しまね国際センター(オンライン併用)
内 容 「多言語相談 Go-en しまね」の紹介、
三者通話デモンストレーション、情報交換・意見交換
事例報告「外国人対応の現状と課題」
堀西雅亮氏(島根県外国人地域サポーター)
出席者 各種相談窓口をもつ国・県の8機関の職員

(2) 外国人地域サポーター事業(県受託事業)

複雑化・深刻化する外国人相談事例に対応するため島根県知事の委嘱により配置された「島根県外国人地域サポーター」が、外国人住民と行政等の橋渡し役としての活動を的確に行えるよう、連絡会議及び研修の開催、活動に対する支援等を実施した。

ア 連絡会議及び研修の開催

(ア) 連絡会議

出席者 外国人地域サポーター、市担当課職員、県文化国際課・雇用政策課及びしまね国際センター職員

第1回

日 時 令和4年5月30日(月) 13:30-15:30
方 法 オンライン
内 容 自己紹介、令和4年度の取り組みについて、情報交換・意見交換(グループ別)、意見交換(全体)

第2回

日 時 令和4年9月30日(金) 10:00-12:00
方 法 オンライン
内 容 5~8月活動報告、県・SIC・各市の取組、意見交換・情報交換(グループ別)、意見交換(全体)

第3回(市町村・国際交流団体等連携会議 東部会場に出席)

日 時 令和4年11月18日(金) 13:30-15:50
場 所 島根県民会館(松江市)
内 容 県施策等の説明及び意見交換
国際交流推進施策、多文化共生推進施策、SIC今年度の事業

第4回(市町村・国際交流団体等連携会議 西部会場に出席)

日 時 令和4年11月21日(月) 13:20-15:40
場 所 島根県浜田合同庁舎(浜田市)
内 容 県施策等の説明及び意見交換
国際交流推進施策、多文化共生推進施策、SIC今年度の事業

(イ) 研修

メールで外国人地域サポーターの活動の参考になる研修会の案内をし、参加を促した。

期 間 令和4年9月～令和5年1月 全5回
テーマ 国際結婚、外国人とのコミュニケーションほか

イ 外国人地域サポーターの活動に対する支援

サポーター数 13 個人・団体
活動自治体 松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、江津市、雲南市
委 嘱 期 間 令和4年4月1日～令和5年3月31日
活 動 実 績 759 件（令和3年度619件）
活 動 内 容 外国人住民への情報提供、外国人住民の現状・ニーズ把握、
相談窓口の紹介、同行支援等
支 援 内 容 関係機関との連絡調整、事業広報活動等

(3) SNS を活用した情報伝達（県受託事業）【新規】

ワンストップ型相談窓口寄せられる相談内容をもとに、外国人住民が必要としている情報を把握し、SNSを活用した効果的な情報発信を行う。

対応言語 やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語

(4) 日本語学習の環境整備（県受託事業）【拡充】

ア 日本語教室支援事業

外国人住民の日本語学習の場となるだけでなく、多文化共生社会における地域の拠点となりうる日本語教室の運営活性化に向けた活動を支援した。

(ア) 教材・運営方法等の情報提供

(イ) 日本語教室マップの作成

言 語 日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、
ベトナム語

部 数 3,000 部（6 か国語併記）

配布先 市町村外国人住民窓口、出入国在留管理局等

(ウ) ボランティア保険費用の補助

補助数等 5 教室、57 人

イ やさしい日本語普及事業

外国人にも理解しやすい「やさしい日本語」を普及促進するための研修を実施した。

対 象 者 行政職員、一般県民等

内 容 講義・演習（なぜ「やさしい日本語」を使うのか、言い換え・書き換えの方法等）

実施件数 19 件（令和3年度21件）

ウ 日本語学習環境の充実

県内の外国人住民が、それぞれの日本語習得レベルに応じた、日常生活に必要な日本語を学習できる環境を整備した。

(ア) 地域訪問型日本語教室

日本語パートナーによるオリジナル教材『となりで日本語』を使用した、公民館やオンライン等でのペア形式の学習。

開催時期 第1期 令和4年6月～12月

第2期 令和4年9月～令和5年2月

第3期 令和4年11月～令和5年2月

回数 90分×10回×3期

学習者 第1期 12人（アフガニスタン、インド、中国、日本、
ブラジル、ベトナム、メキシコ、）

第2期 19人（中国、ブラジル、ベトナム、南アフリカ、
ネパール）

第3期 13人（アフガニスタン、オーストラリア、ギニア、
トリニダードトバゴ、日本、バングラデシュ、
ブラジル、ベトナム）

参加者 第1期 日本語パートナー のべ10人

第2期 日本語パートナー のべ16人

第3期 日本語パートナー のべ12人

場所等 公民館等 県内12か所

（松江市、出雲市、オンライン）

内容 トピック型対話教材を使用し、学習者が自分に関することを簡単な単語や表現を使って話し、日本語パートナーと交流する

(イ) オンライン型日本語教室[基礎]【新規】

日本語教師によるオリジナル教材を使用した、オンラインでの教室形式の学習。

開催時期 令和4年5月～7月

回数 120分×12回×1期

学習者 12人（ブラジル、アフガニスタン、スリランカ、タイ、中国、
バングラデシュ）

指導者 日本語教師

内容 ひらがな・カタカナの学習、日常生活において簡単なコミュニケーションができるレベルの会話

(ウ) オンライン型日本語教室[レベル別]【新規】

日本語教師によるレベル別のオンラインでの教室形式の学習。

開催時期 ①入門 令和4年7月～9月

②初級1 令和4年10月～12月

③初級1後期 令和4年12月～令和5年3月

回数 ①②120分×20回×1期、③120分×19回×1期
学習者 ①20人（アフガニスタン、スリランカ、タイ、中国、ブラジル、
フィリピン、ミャンマー）
②8人（中国、ブラジル、フィリピン）
③9人（中国、ブラジル、フィリピン、ベトナム）
指導者 日本語教師
内容 日常生活において必要な日本語の会話

(エ) 企業訪問型日本語教室

県内事業所で就労する外国人材に求められる日本語の学習
団体名 株式会社 MAC（吉賀町）
期間 令和4年9月4日（日）～令和4年10月9日（日）
回数 90分×12回
場所 六日市基幹集落センター（吉賀町）
学習者 6人（ベトナム）
指導者 日本語講師2人、日本語パートナー7人
内容 『いそどり入門/A1』（国際交流基金）など

エ ボランティア養成講座の実施

(ア) 日本語パートナー入門講座（全4回）

a 東部会場

日時 ①令和4年5月15日（日）13:30-16:30
②令和4年5月22日（日）13:30-16:30
③令和4年5月22日（日）～29日（日）
オンデマンド動画視聴
④令和4年5月29日（日）13:30-16:30

場所 ①②④直江コミュニティセンター（出雲市）

参加者 28人

内容 講義「島根で暮らす外国人の様々な形」
ワークショップ「国際理解・異文化間コミュニケーション」
実習「やさしい日本語」「オリジナル教材を使った教え方」

講師 ①堀西雅亮（島根県外国人地域サポーター）
①橋本優香（広島市日本語教育コーディネーター）
②③佐藤智照（島根大学外国語教育センター）
②岩田和美（しまね国際センター）
④芝由紀子（一般社団法人ダイバーシティうんなん toiro、
島根県外国人地域サポーター）

b 西部会場

- 日 時 ①令和4年6月18日(土) 13:30-16:30
②令和4年6月19日(日) 13:30-16:30
③令和4年6月19日(日)～26日(日)
オンデマンド動画視聴
④令和4年6月26日(日) 13:30-16:30
- 場 所 ①②④パレットごうつ(江津市)
- 参加者 14人
- 内 容 講義「島根で暮らす外国人の様々な形」
ワークショップ「国際理解・異文化間コミュニケーション」
実習「やさしい日本語」「オリジナル教材を使った教え方」
- 講 師 ①岩田和美(しまね国際センター)
①橋本優香(広島市日本語教育コーディネーター)
②山藤美之(島根県外国人地域サポーター)
②③佐藤智照(島根大学外国語教育センター)
④芝由紀子(一般社団法人ダイバーシティうんなん toiro、
島根県外国人地域サポーター)

(イ) スキルアップセミナー

- 日 時 ①オンデマンド動画視聴 令和5年2月14日(火)～24日(金)
②クラス指導研修
東部会場：令和5年2月25日(土) 10:00-12:00
西部会場：令和5年3月4日(土) 13:30-15:30
- 場所等 ①オンライン
②東部会場：直江コミュニティセンター(出雲市)
西部会場：大田まちづくりセンター(大田市)
- 参加者 ①28人 ②東部会場：12人、西部会場：5人
- 内 容 ①「SICにほんごコース《職場でにほんご》について」
「島根県の外国人住民の日本語能力と日本語学習」
「クラス形式の日本語学習の進め方」
「仕事に関する日本語」
②「SICにほんごコース《職場でにほんご》について」
「県オリジナル教材『いっしょににほんごしまねけん』の
特徴と内容」、
「クラスで教える際のポイントと指導体験」
- 講 師 岩田和美(しまね国際センター)

(ウ) 「SIC にほんごコース《となりでにほんご》オンライン講座」

日 時 令和4年7月16日(土)

方 法 オンライン

参加者 14人

内 容 島根県オリジナル教材『となりでにほんご』を使ったオンラインでの学習の進め方についての説明と実習

講 師 岩田和美(しまね国際センター)

オ 訪問型日本語教室交流会の開催

日 時 令和5年1月29日(日) 10:00-12:00

参加者 11人

学習者7人(アフガニスタン、中国、ブラジル、メキシコ)
日本語パートナー3人、日本語教師1人

方 法 オンライン

内 容 自己紹介、小グループでの日本語での交流など

カ 日本語学習体制の整備

期 間 令和4年4月～令和5年3月

内 容 総合調整会議の実施、先進地視察、市町村と連携した日本語ボランティア講座の実施等

(5) 災害時外国人サポーター養成研修(県受託事業)

外国人住民の災害に対する意識の向上、災害時に外国人住民をサポートするボランティアの確保・増員を図るため、自治体と連携しながら開催した。

ア 災害時外国人サポーター養成研修

(ア) 東部会場

日 時 令和5年2月26日(日) 13:30-16:30

場 所 四絡コミュニティセンター(出雲市)

参加者 21人

内 容 講義・演習①「災害時に外国人が困ることは何か、外国人への効果的な情報提供の方法」

演習② 情報翻訳訓練

演習③ 避難所巡回訓練

講 師 目次敦美(多文化共生マネージャー)

主 催 島根県、しまね国際センター、出雲市

(イ) 西部会場

日 時 令和4年6月5日(日) 13:30-16:30

場 所 六日市基幹集落センター(吉賀町)

参加者 18人

- 内 容 講義・演習① 災害時に外国人が困ることは何か、外国人への効果的な情報提供の方法」
演習② 情報翻訳訓練
演習③ 避難所巡回・聞き取りの練習
講 師 目次敦美（多文化共生マネージャー）
主 催 島根県、しまね国際センター、吉賀町

(6) 外国人住民向け多文化共生イベント（県受託事業）

外国人住民が地域の文化や風習を知ることきっかけに、外国人住民と日本人住民が交流し、相互理解を深め、「多文化共生」意識の醸成を図り、外国人住民が地域での生活に溶け込めるきっかけとなるイベントを県内3か所で開催した。

ア 松江市

第1回 日本の正月を体験しよう

日 時 令和5年1月15日（日）10:00-12:00

場 所 松江市国際交流会館

内 容 書初め（作品は国際交流会館に展示）、正月の遊び体験

参加者 34人（アフガニスタン、インド、ギニア、マケドニア、日本）

第2回 日本の節分を体験しよう

日 時 令和5年2月4日（土）10:00-12:00

場 所 朝日公民館

内 容 節分・豆まきの説明、豆まき、恵方巻づくり

参加者 31人（インドネシア、オーストラリア、中国、ベトナム、日本）

第3回 ひなまつりを体験しよう

日 時 令和5年3月5日（日）10:00-12:00

場 所 松江市市民活動センター

内 容 ひなまつり・花餅の説明、花餅づくり、折り紙

参加者 33人（ベトナム、ブラジル、中国、日本）

イ 浜田市

第1回 浴衣を着て、盆踊りを体験しよう ※COVID-19のため開催中止

日 時 令和4年9月4日（日）10:00-11:30

場 所 島根県立体育館

内 容 浴衣の着付け、盆踊り体験

第2回 浜田の秋を楽しむ～紅葉狩り×写真撮影～

日 時 令和4年10月30日（日）10:00-12:00

場 所 龍雲寺

内 容 紅葉狩り、写真撮影大会

（作品は浜田市中央図書館と県立大学浜田キャンパスに展示）

参加者 25人（アイルランド、中国、ベトナム、日本）

第3回 神楽鑑賞会～神楽×国際交流～

日 時 令和5年3月5日（日）14:00-16:00
場 所 三宮神社
内 容 石見神楽鑑賞、神楽クイズ、神楽衣装体験
参加者 28人（アメリカ、カンボジア、中国、ベトナム、日本）

ウ 安来市

第1回 安来市の施設めぐり

日 時 令和4年10月8日（土）9:10-13:00
場 所 安来市役所・安来市立図書館・社日交流センター
内 容 庁舎案内、図書館の説明・見学、路線バス乗車、社日交流センター・日本語教室の説明、市内散策
参加者 15人（アメリカ、ギニア、フィリピン、モロッコ、日本）

第2回 お正月に向けて書初め教室

日 時 令和4年12月11日（日）9:50-12:10
場 所 安来中央交流センター
内 容 書初め（作品は安来市総合文化ホールアルテピアに展示）
参加者 25人（アメリカ、フィリピン、ベトナム、モロッコ、日本）

第3回 安来節鑑賞と体験

日 時 令和5年2月12日（日）12:30-16:30
場 所 安来節演芸館
内 容 安来節鑑賞、どじょう掬い踊り体験
参加者 26人（アメリカ、オーストラリア、バングラデシュ、フィリピン、ベトナム、日本）

8. ボランティア研修事業

外国人住民の生活場面における広範な課題に対応していくためには、行政だけでは困難であり、広く一般住民のボランティア活動を必要としている。そのため、外国人住民を支援するボランティアを継続して養成するとともに、スキルアップを図り、量的拡大と質的向上を図った。

(1) コミュニティ通訳勉強会の開催

島根県内の外国人住民数は年々増え続けており、コミュニティ通訳ボランティアの利用ニーズに適切に応えるため、ボランティアの養成講座を開催した。

ア 養成講座（全3回）

日 時 ①令和5年1月28日（土）10:00-16:30
②令和5年2月11日（土）10:00-16:30
③令和5年2月19日（日）10:00-16:30
方 法 オンライン

- 対象者 コミュニティ通訳ボランティア登録者および日本語を含む
2つ以上の言語で日常会話以上の語学力があり、医療や教育
分野での通訳ボランティア活動に関心のある者
- 参加者 27人（うちコミュニティ通訳登録者13人）
- 内 容 ①講義：島根県の外国人住民の状況、医療通訳の基礎、通訳
技術の基礎知識
②講義：医療通訳に必要な知識
③演習：言語別演習（医療分野）
- 講 師 ①西村明夫、岩本弥生（日本公共通訳者協会（Cots））
②西村明夫、一枝あゆみ（Cots）
③本田友香、アビー・ニコラス・フリー、三木紅虹、
岩本弥生（Cots）
オリバー・マーシャル（島根県文化国際課）
フェリペ・ナシメント（島根県文化国際課）

イ 勉強会

- 日 時 令和4年9月12日（月）13:30-15:30
- 場 所 しまね国際センター、出雲市役所（オンライン併用）
- 対象者 コミュニティ通訳ボランティア登録者および学校関係者
- 参加者 19人（うちコミュニティ通訳11人）
- 内 容 言語別演習（教育分野）
- 講 師 野中モニカ（天理大学国際学部外国語学科）
オリバー・マーシャル（島根県文化国際課）
フェリペ・ナシメント（島根県文化国際課）
李海冰（しまね国際センター）

ウ 指定講座

- 指定件数 7件（令和3年度4件）
- 講座開催団体 行政機関等
- 講座内容 災害、多文化共生等

(2) 子どもサポーター研修の開催

外国にルーツをもつ子どもの高校進学に必要な支援の在り方や支援方法について学び、高校進学支援に関する関心と理解を深めるために、研修を行った。

- 日 時 令和4年7月31日（日）10:00-16:30
令和4年8月20日（土）13:30-16:30
- 方 法 オンライン
- 対象者 外国にルーツをもつ子どもの日本語指導に関心のある方など
- 参加者 32人

- 内 容 外国にルーツをもつ人の話を聞く、島根県の外国人住民の状況、
島根県及び出雲市における外国にルーツをもつ子どもの状況、
外国にルーツをもつ子どもへの指導方法、外国にルーツをもつ
子どものメンタルヘルス
- 講 師 長岡祥乃（日本語指導員）、河原由実（MANABIYA代表）、マソーラ
マルセリ ヒカリ（社会人）、横田ユミ（高校生）、横田アギネス（外
国人保護者）、土江庸介（島根県教育庁教育指導課）、松本康佑（出
雲市教育委員会学校教育課）、土江梨奈（島根大学医学部看護学科）

Ⅱ. 国際交流・協力事業（公益2）

1. プログラムコーディネート事業（県受託事業）

県及び市町村が招致する外国人青年について、受入や配置に係るコーディネート、県内での研修プログラムの企画・運営、カウンセリングを行った。さらに、県国際交流員については、業務の調整も行った。

また、内閣府の青年国際交流事業、独立行政法人国際協力機構（JICA）、民間団体等の国際交流や国際協力に関して連携・調整・支援等を行った。

2. 北東アジア交流の翼 in しまね（県受託事業）

県内在住の北東アジア地域等の青年と県内青年との交流プログラムを実施することにより、ネットワークづくりと人材育成を行った。

ア 事前研修（全2回）

日 時 ①令和4年9月10日（土）13:30-15:40

②令和4年10月1日（土）13:30-16:30

場所等 しまね国際センター（オンライン併用）

参加者 島根青年7人

内 容 ①自己紹介、事業説明、役割分担、各プログラム内容検討

②各プログラム内容検討

イ 交流プログラム（全2回）

日 時 ①令和4年10月22日（土）13:30-16:30

②令和4年10月29日（土）10:00-17:00

場 所 ①松江市市民活動センター（松江市）

②宍道ふるさと森林公園（松江市）

参加者 23人（中国10人、ベトナム5人、アメリカ1人、
ブラジル1人、日本6人）

内 容 ①開会、自己紹介、交流活動

②交流活動、講義、自然体験活動

ウ 事後研修

日 時 令和4年11月16日（水）19:00-20:00

令和4年11月21日（月）18:30-19:20

場所等 しまね国際センター、オンライン

参加者 島根青年7人

内 容 プログラムに参加しての感想、振り返り、まとめ
将来への抱負ほか

3. 世界とつながる島根づくり助成事業

地域が国際化するためには、地域の国際交流の担い手である民間団体や住民が積極的に国際交流に関与することが必要である。そのため、住民主体の国際交流・協力や日本語教室など多文化共生に資する事業に対し助成した。

助成額	1事業当たり上限20万円	
補助率	2/3（日本語教育事業は3/4）	
申請件数	12団体	（令和3年度9団体）
助成件数	9団体	（令和3年度9団体）
助成額	741千円	

4. 海外移住者等支援事業

島根県出身者の南米移住者は、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ペルー等の移住先で石見神楽など本県の伝統文化の紹介や、日系人子弟への日本語の教育などの活動を展開してきており、これらの活動に助成した。また、南米に居住する移住者の精神的支えとなり、生まれ育った母県の情報を提供したり、県内在住の日系ブラジル人との交流を行っている海外移住家族会の活動を支援した。

(1) 海外移住者支援事業

南米の移住者の文化活動、教育指導・援助活動等に、県人会を通じて必要な経費の一部を助成するとともに各種情報の提供を行った。

南米移住者県人会への助成額

ブラジル	50万円	(200世帯	500人)
ペルー	5万円	(6世帯	10人)

(2) 島根県海外移住家族会支援事業

県と連携を図り、島根県海外移住家族会の事業運営を支援した。

家族会 正会員 55人

特別会員 5市4町、8団体、5個人 計22

5. 国際交流団体等連携協力事業

民間団体がより活動しやすい環境をつくるため、国際交流団体・市町村等連携会議を開催し、意見交換を行うとともに、連携・協働事業の促進を図った。

また、優れた国際交流・協力活動や日本語教室等のきめ細かな外国人住民の支援活動を行っている団体や個人を顕彰し、民間団体、地域住民の国際交流・協力や外国人住民の支援活動等を奨励した。

(1) 国際交流団体・市町村等連携会議開催事業

国際化推進・多文化共生活動を行う団体等と市町村が一堂に会し、意見交換する場を設けた。（県との共催事業）

日 時 ①松江会場 令和4年11月18日(金) 13:30-15:50
②浜田会場 令和4年11月21日(月) 13:20-15:40
場 所 ①島根県民会館(松江市)
②島根県浜田合同庁舎(浜田市)
参加者 ①21人 ②19人

(2) 功労者顕彰事業

島根県の国際化に尽力し、また当センター事業に多大な貢献をするなど、その功績が特に顕著な者を顕彰した。表彰式は、市町村・国際交流団体等連携会議(松江会場)で行った。

表彰状(敬称略) 1団体・1個人
・日本語ではなそう!ふらっと(出雲市)
・三代 律男(松江市)

6. 海外技術研修員等受入事業(県受託事業)

島根県が交流を進めている地域及びその他の開発途上国から中堅技術者を受け入れ、それらの国が必要とする技術の習得及び人材の育成に寄与する事業。

令和4年度は、県からの受託はなかった。

○法人会計

1. 会議の開催

(1) 理事会・評議員会

場 所 島根県民会館

ア 理事会

- 第1回 令和4年5月16日(月) 決議の省略
- 第2回 令和4年6月2日(木) 14:00-16:00 (通常理事会)
- 第3回 令和4年6月17日(金) 11:15-11:40 (臨時理事会)
- 第4回 令和4年8月5日(金) 決議の省略
- 第5回 令和4年11月9日(水) 14:00-14:45 (臨時理事会)
- 第6回 令和5年1月20日(金) 決議の省略
- 第7回 令和5年3月15日(水) 14:00-15:30 (通常理事会)

イ 評議員会

- 第1回 令和4年5月31日(火) 決議の省略
- 第2回 令和4年6月17日(金) 09:40-11:00 (定時評議員会)
- 第3回 令和4年8月30日(火) 決議の省略
- 第4回 令和5年2月10日(金) 決議の省略

2. 会議、研修会への参加

(1) 地域国際化協会連絡協議会総会

日 時 令和4年5月20日(金) 13:00-14:20
場 所 東京グリーンパレス (東京都千代田区)
出席者 常務理事 高橋泰幸

(2) 中国・四国地区地域国際化協会連絡会議

日 時 令和4年10月26日(水) 13:30-17:00
場 所 徳島県国際交流協会 (オンライン出席)
出席者 常務理事 安部山亨、多文化共生推進課長 仙田武司、
総務・交流課長 小寺真由美、多文化共生推進課主任 横田敦
ほか他県協会等計37人
内 容 各協会の概況報告、提出議題の協議、研修会
研修会 「責任ある外国人労働者受け入れのための外国人支援について
～外国人支援の発展と協働を目指して～」
講師 NPO 法人国際活動市民中心 新居みどり氏 ほか

3. 組織体制等の検討

多文化共生に関する業務の拡大を踏まえ、組織体制の在り方について検討した。体制改善の第一歩として、マンパワー充実と後継者育成の観点から、正規職員を1名増員した。

また、より効果的に事業を推進するため、5つの視点から事業体系を整理した。それに伴う公益法人の事業変更認定申請を行い、認定を受けた。

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年6月

公益財団法人 しまね国際センター